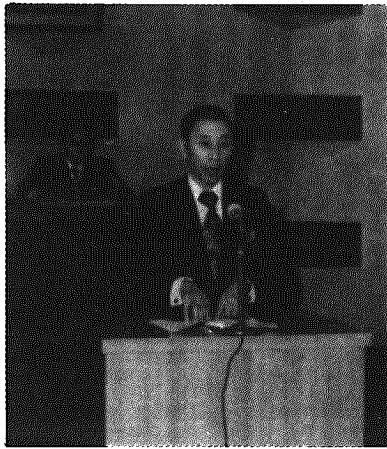


「健康で文化的な活力のある 明るい豊かな黒埼町」建設へ



昭和五十五年度の一般会計予算案などを審議する、本年第一回定例町議会が三月十日に開会され、三十二議案はいずれも原案どおり可決され二十四日終了。八〇年代の初年度へスタートが切られます。今号は、初日に行われた町長の施政方針の要旨に基づいて、一般会計及び各特別会計の概要をお知らせします。その他の議決事項は、次号(第一六一号)でお知らせします。

精いっぱい切り詰めて 一般会計は二十七億円余り

(施政方針) 要旨

一九八〇年代を迎え、新たな第一歩を踏み出すに当り、七〇年代をふり返ってみますと、まさに試練の年月でありました。

国際通貨体制の動揺で幕を明け七〇年代の世界経済は、七十二年の石油危機を契機に、激しいインフレと長期の景気停滞に直面いたしました。さらにこの難局をようやく克服しようとした矢先、再び石油情勢の悪化に見舞われ、経済成長率の鈍化と、インフレの加速が懸念されるに至っております。しかしながら世界経済をめぐる諸情勢は、八〇年代に入ってもますます不透明さ、不確実さを増し、我が国の経済も景気の先行きは、必ずしも予断を許さないものがあり、物価も警戒を要する状況にあ

広報 くろさき

第 160 号

行 黒埼町役場
〒950-11 新潟県西蒲原郡
黒埼町 大野2843番地1
電 07-3101
編 集 企 画 調 査 課
印 刷 専 務 室 印 刷

〈町の動き〉	
2月末現在 (前月比)	
人 口	20,036(+3)
男	9,855(+7)
女	10,181(-4)
世 帯	4,965(-3)
2月1日～末日まで	
死 出	16
生 入	20
婚 姻	1

月2回(1日-15日) 1部20円

ります。新年度におきましては、物価の安定と経済の自律的拡大を維持するとともに、財政の公債依存体質を改善し、対応力の回復を図ることが、国、地方を通じ、緊急の課題となっております。

こうした情勢をふまえて、国家予算は財政再建を目的とし、国債発行規模の縮減、公共事業の圧縮等歳出の抑制を内容として、緊縮型の予算となっておりますが、本町も国、県と同様、予算規模も近年になく低い伸び率にとどまり、総体として抑制基調の予算編成となったのであります。

町民憲章

町民歌の策定へ

(ふるさと黒埼 永遠の発展をめざし)

八〇年代は本町にとって大きな飛躍、発展が期待される時代であります。北陸自動車道の開通に相ついで上越新幹線の開通と、さらに新潟流通センターの操業等が実現する運びとなっております。

また、人口も昨年十二月末で二万人を突破し、今後も引続き増加することが予想されます。

なお本町は、町制を施行して八年目、五ヶ村(旧・黒鳥村・木場村・板井村・鳥原村・金巻村)合

併後七十九年目になりました。よって私は本町の特色ある町造りに町民の英知を結集した、いわゆる「地方の時代」にまい進すべく努力をし、躍進黒埼町のイメージアップをはかる所存です。そこで私は、町制施行十周年を一つのステップとして「ふるさと黒埼町」が永遠の発展と住みよい、楽しい理想郷であるよう、町民憲章及び町民歌などの策定を今後検討していく所存であります。

また私は、引き続き国・県の施策を意欲的に導入すると同時に、本町独自のきめ細かい施策にも十分配慮して、積極的な町政の運営を図って行きたいと考えております。なお安定経済への移行過程にある今日、従来にもまして行政の簡素化、効率化が強く求められております。私はこれまで行政経費の節減などに、十分留意してきましたが、今後も行政運営については、徹底した見直しを実施し、社会経済情勢の変化に対応した。むだのない能率的な行政を推進していく所存です。

新年度予算におきましても、国の公共事業抑制策の中で、町単独事業を積極的に進め、町民福祉の向上に努めていくものです。